

施策分析シート（平成29年度）

No1

施策名	高齢者の社会参加の促進	施策No	02-01	部課名	福祉部高齢者福祉課			
				課長名	堀 内線 2660			
関連部課名	区民生活部区民施設課、福祉部福祉推進課							
行政評価	分野	生涯健康都市						
事業体系	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成					
目的	就労やボランティア活動、生涯学習や趣味、地域におけるサークル・団体活動等、高齢者一人一人が自ら希望する形で社会に参加し、生きがいを実感しながら、充実した生活を送ることができるよう、高齢者の社会参加を促進する。							
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文			
		26年度	27年度	28年度				
	自分の役割・居場所がある実感度	3.67	3.69	3.68		家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明		
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み		目標値(38年度)	
	高年者クラブ加入率(%)	11.91	11.34	11.32	10.96		12.00	会員数 / 60歳以上人口 × 100
	荒川シルバー大学受講者数(人)	1,388	1,401	1,371	1,420		1,550	4月1日現在の受講登録者数
	シルバー人材センター就業率(%)	79.7	79.9	79.0	79.0		80.0	就業実人員 / 会員数 × 100

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	給与関係費		39,752		地方税等		0	
	物件費		111,701		国庫支出金		0	
	維持補修費		0		都支出金		39,517	
	扶助費		0		分担金及び負担金		0	
	補助費等		76,380		使用料及び手数料		2	
	減価償却費		32,273		その他		20,564	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		60,083	
	賞与・退職給与引当金繰入額		4,089		行政収支差額(a)-(b)=(c)		204,112	
	その他行政費用		0		金融収支差額(d)		0	
行政費用合計(b)		264,195		通常収支差額(c)+(d)=(e)		204,112		
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		204,112		
貸借対照表	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
	収入未済		0		流動負債		1,755	
	不納欠損引当金		0		還付未済金		0	
	その他の流動資産		0		特別区債		0	
	有形固定資産		907,848		賞与引当金		1,755	
	土地		510,931		その他の流動負債		0	
	建物		1,209,792		固定負債		21,180	
	建物減価償却累計額		812,874		特別区債		0	
	工作物等		20,106		退職給与引当金		21,180	
	工作物等減価償却累計額		20,106		その他の固定負債		0	
無形固定資産		0		負債の部合計		22,935		
建設仮勘定		0		正味財産		889,439		
その他の固定資産		4,526		正味財産の部合計		889,439		
資産の部合計		912,374		負債及び正味財産の部合計		912,374		

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>総務省統計局「労働力調査」の2015年の就業者数について見ると60～64歳が534万人、65歳以上が729万人となっており、高齢者雇用確保措置の導入が義務付けられた2006年から上昇する等、積極的に活動する高齢者（アクティブシニア）が増えている反面、地域社会との接点がない「閉じこもり」等の状況も一定数存在する。</p> <p>荒川シルバー大学の受講者数は、1,400人程度で推移している。受講者の内訳を見ると、女性受講者に比べ男性受講者が少ない傾向にある。</p> <p>シルバー人材センターの就業者数は1,300人程度、受託件数は6,800件程度で推移している。</p> <p>財務諸表について、物件費のうち各事業にかかる委託料が合計111,181,000円（99%）、また、補助費等のうち他団体への助成金は74,718,000円（98%）を占めている。このことから地域の施設や他団体と共に施策の目的である高齢者の社会参加促進を実施していることが分かる。</p>
課題	<p>高齢者の活動の方法や形態等が多様化しているため、高齢者一人一人や団体等それぞれのニーズに対応した的確な支援が求められる。</p> <p>シルバー大学をはじめ、生涯学習や世代間交流、介護予防の取組に男性の参加を促す講座等のメニューを充実させることが求められる。これまで地域活動に参加したことのない高齢者を誘い出すための工夫が必要である。</p> <p>シルバー人材センターを通じて高齢者の雇用機会の拡大を図るため、会員数・就業者数の増加と受注拡大を図る必要がある。</p> <p>就業希望がありながら就業できない者もあり、多様な社会参加のあり方やその可能性等についての情報を提供し、支援を行っていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>高年者クラブやコミュニティカレッジ卒業生等、様々な活動を行う高齢者又は団体への支援を通して、新たな活動形態の創出につなげる。</p> <p>高年者クラブやシルバー大学の活動等の周知や運営支援を行い、高齢者の社会参加の促進や閉じこもりの防止につなげる。また、様々な高齢者ニーズに対応するための方策を検討し、高年者クラブやシルバー大学をより多くの高齢者が活動できる場としていく。</p> <p>シルバー人材センターの会員数拡大を図るため、同センターへの支援を行っていくとともに周知活動を充実させる。</p> <p>ハローワークや社会福祉協議会等の関係機関と協力し、就労をはじめとした多様な社会参加への支援を行っていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	高齢者が生きがいや活力を実感し、充実した生活を営むことができるよう、就労等の支援を行うとともに、生涯学習や趣味、地域におけるサークル・団体活動等を促進し、高齢者の社会参加の機会の充実を図るため、重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のため の分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
高齢者事業運営費	04-03-02	50,169	46,343	推進	推進	高齢者の生きがいづくりの機会拡大に寄与するよう、気軽に参加できる魅力ある事業をさらに展開していく。
老人福祉センター管理運営	08-01-20	55,498	95,166	重点的に推進	重点的に推進	高齢者が自発的に介護予防を実践できるよう、魅力ある事業の展開と介護予防の啓発を図る。
高年者クラブ助成事業	08-03-01	27,603	27,644	推進	推進	連合会の活動の活性化を図るよう引き続き支援する。
高齢者生きがい事業補助 （シルバー大学）	08-03-02	1,808	1,798	継続	継続	引き続き会員数の拡大に向け、活動等の周知を図るとともに、魅力的な講座や活動が展開されるよう支援する。
シルバー人材センター管理運営費等助成	08-03-03	46,302	45,719	継続	継続	シルバー人材センターの安定運営のため、引き続き助成していく。
シルバー人材センター受注拡大強化助成	08-03-04	1,242	1,321	継続	継続	高齢者の就業充実のため、引き続き受注拡大強化を図る。
荒川授産場管理運営	08-03-05	16,721	17,587	継続	継続	本施設の目的に鑑み、引き続き安定的な運営を図る。
合 計		199,343	235,578			